地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の申請主体の名称

熊本県小国町

2 地域再生計画の名称

食資源、森林資源、温泉などを生かしたグリーンツーリズム・ヘルスツーリズムの推進

3 地域再生の取組を進めようとする期間

平成１６年度から約５年

4 地域再生計画の意義及び目標

熊本県小国町は、九州のほぼ中央に位置し、標高 400～600mの高地に耕地や宅地が広がる農山村である。基幹となる産業は農林業で、特に林業は古い歴史を持ち、豊富な蓄積量と優れた材質により、「小国杉」の名で産地を築いてきた。また、農業でも夏場の冷涼さを生かした野菜作りや酪農（ジャージー種）のより独自の小国ブランドを作り上げてきている。

しかしながら農山村は、外国産品の攻勢や産地間競争の中で、農林業ともに厳しい局面に立たされている。こういった状況を打破するために、優れた農産加工品の開発、安全な産品づくりとそのアピールなどの高次の産業への展開や、農村環境や森林・木材の持つ多面的機能に着目した新しい産業づくりが必要であると考えており、この２０年間そういった取組みを進めてきた。

近年は、地域外とのさまざまな交流を通して農林業をはじめとする地元の産業を交流型に移行させる手段として、また、地域の資源を見直し、住民の新しい生活スタイルを生み出す契機になることを目指して、「ツーリズム」という新しい旅の形態に注目している。平成９年には全国に先駆けて「九州ツーリズム大学」を開校するなど、ツーリズムの概念の普及とツーリズム産業を担う人材の育成に力を入れてきている。

久住山系の西に位置する小国町は、町内にいくつかの温泉地を有しており、

温泉観光関連産業も、町の大きな経済基盤である。特に杖立温泉は、古くからの温泉地として知られており、湯治場としてまた高度成長時には、歓楽観光地として賑わってきた。しかし、施設更新の立ち遅れなどから、現在の「癒し系」の温泉ブームに遅れをとっており、一時期の賑わいがなくなってきている。そこで、杖立温泉旅館組合は、平成１１年から、「食（薬膳）・体（気功）・温（温泉）」をテーマに、「杖立温泉健康の里づくり」をすすめ新しい杖立の魅力づくりを始めた。小国町は、「崇山少林寺」がある中国華南省登封市と友好関係にあり、少林武術の普及と、少林寺の持つ東洋医学的知識などを取り入れながら、杖立温泉らしい健康づくりを提供できる温泉地を模索中である。

また、細菌学者で予防医学の先駆者である、北里柴三郎博士の生誕の地であり、北里研究所・東洋医学研究所などとも関係が深く、漢方などの東洋医学の手法を住民の健康づくりに役立てたいと検討を進めている。

さらに小国町では、平成１５年から、町内の団体・関係者（小国公立病院、旅館組合、ＪＡ，教育委員会など）、大学（京都大学、九州芸術工科大学、高知大学）、及び数社の企業の参加、協力を得て「代替医療研究開発委員会」を組織して、いわゆる代替医療による健康づくり・健康産業づくりの検討を始めた。同時に、代替医療・機能性食品に対する認識のアンケート調査や、代替医療に関する共通認識の醸成を進めてきている。また、１５年には九州芸術工科大学（現九州大学芸術工学府）と、まちづくりの協力協定を締結しており、大学の持つ知財をまちづくりの現場で生かせる体制ができつつある。特に芸術工学部が得意とする、生理人類学的手法による調査・研究は、健康産業育成のために期待できる。

以上のような状況のなか、食材、温泉、森林など、地元のさまざまな資源を活用し、グリーンツーリズムやアグリツーリズムの考えに基づいた、農林業体験・健康増進プログラムの提供や、安全で健康増進効果の高い農林産品を生産することにより、癒しや健康維持を求める観光客や消費者へ、小国町を健康の里（健康な里・健康になる里）としてアピールしていき、地域経済の活性化を図っていく。

取組の内容

①農林業体験等のプログラム提供による交流人口の増加を目指す

ワーキングホリデー制度や自然学校など、魅力ある農林業・自然体験プログラムを都市住民に提供し、交流人口増加による地域経済の浮揚を進める。

都市住民参加促進や地域内循環の仕組みづくりのために、地域通貨の導入を目指していく。

②テーラーメイド型健康プログラムの提供を行う

温泉クア療法や森林浴、薬膳などの健康増進プログラムの処方や実践をアドバイスする指導員の育成を図り、食事、入浴、運動などに関するテー

ラーメイド型健康プログラムを提供ができる仕組みづくりをすすめる。

③美しい地域づくりをすすめる。

美しい地域（＝居心地のいい町）を目指して、生活環境や景観に関しての住民の共通認識を作り上げていく。

地域の住民に学習の機会を提供し、ワークショップなどにより、住民が自らの地域の風景を語れる土壌を醸成していき、住む人にも、訪れる人にも心地よい、魅力のあるまちづくりを展開していくものとする。

④地元食材摂取による健康増進をアピールする

ジャージー牛の牛乳からアレルギーを抑える機能を持ったヨーグルトを作るなど、地域で産出した食材を機能性食品に高めるための開発、加工を行う。また漢方薬などの栽培を行う。観光客などには薬膳料理として提供し、食材としては福岡を中心に外部の市場へ販売も行う。

⑤健康住宅の販売を促進する

第３セクター悠木産業株式会社が、質のよい小国杉を活用し、化学物質を使わない健康住宅を建設・販売していく。健康住宅については、生理人類学の見地から、小国杉を使った住宅の心地よさ、好き嫌いなどの面が健康に与える影響を明らかにする。住宅は小国町内にも販売するが、主な市場は福岡方面となる。小国杉のブランド価値を高めることを目指す。

５ 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果

本再生計画では、都市住民にグリーンツーリズムプログラムやヘルスツーリズムプログラムを提供することなどにより、既存の農林業に加え、健康サービス産業、健康関連産業の育成を図り、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指すものである。

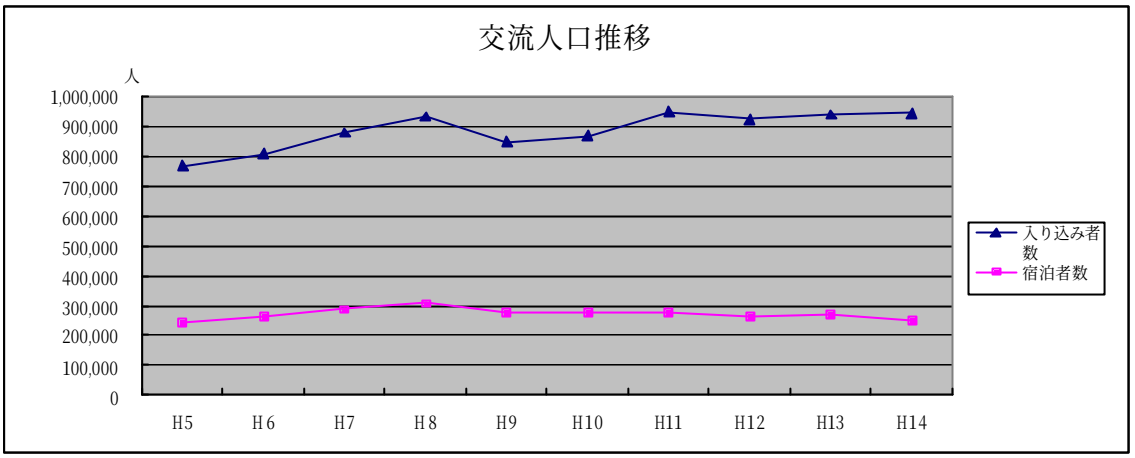
阿蘇くじゅう国立公園の一角にある小国町は、その立地条件も手伝って、毎年入り込み客が増加している。また、先進的なまちづくりを積極的に行ってきたことにより、福岡地域を中心として都市部の人たちへの知名度は高まってきている。ここに、「健康」や「癒し」の町としてのイメージを加えることにより、更なる交流人口の増加とともに、小国産品の市場等での評価アップも期待できる。

さらに、ビジネス機会や雇用機会の増大により、Ｕ・Ｉ・Ｊターンなどによる定住人口の増加も期待している。

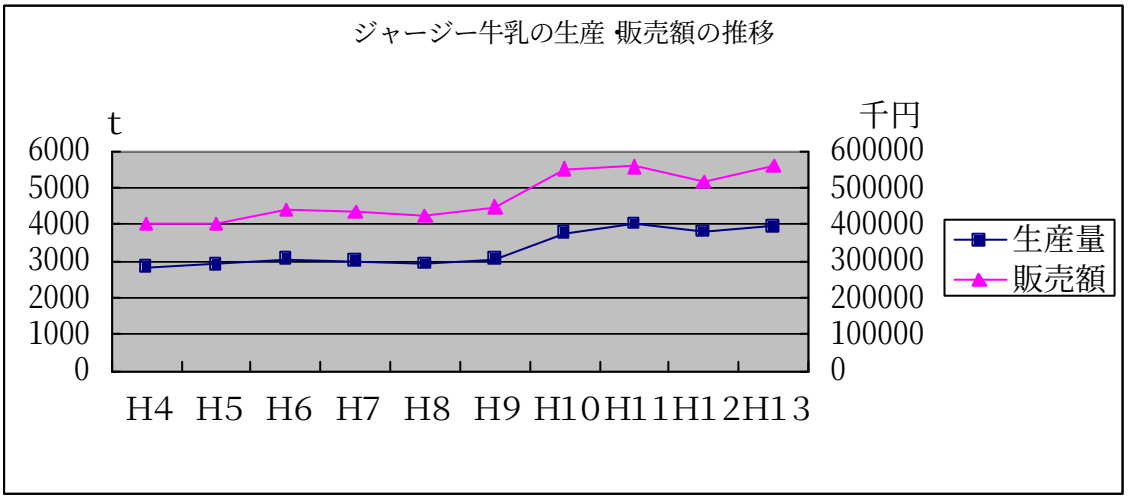
交流人口増の指標としては、

現在、小国町は入り込み者数が年間１００万人弱で、年間の宿泊者が、３０万人前後で推移している。本計画の取組により、温泉地でのひとりあたりの滞在日数を上げることや農村部への都市住民の入り込み・宿泊を促

進することによる入り込み者数の50%増、宿泊者数の20%増を見込む。



また、小国町を代表する農産品である、ジャージー牛乳については、アイスクリームやヨーグルトなどの加工品の開発で、生産量・販売額ともに増加している。今後も、さらに増収を期待しており、販売額で20%の増を見込む。



健康住宅については、モデル住宅などによる積極的な宣伝により、年間８棟の販売を見込む。

6 講じようとする支援措置の番号及び名称

10404　　地域通貨モデルシステムの導入支援
10804　　生涯学習まちづくりモデル支援事業

7 構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組その他の関連する事業

その他関連する事業　：

代替医療研究開発プロジェクトの推進

小国町では、町内関係機関・大学・企業によるコンソーシアム「代替医療研究開発委員会」を組織している。委員会では、次の健康サービスや健康関連産業育成を目標に、各プロジェクトを推進することとしている。

①農産食材の健康増進機能のアピール
②小国型健康環境住宅の販売促進
③グリーンツーリズムプログラムの提供
④ヘルスツーリズムプログラムの提供

8 その他の地域再生計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

別紙

１　支援措置の番号及び名称

10404　　地域通貨モデルシステムの導入支援

２　当該支援措置を受けようとする者

小国町

３　当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

取組に関与する主体
小国町
（財）学びやの里
特定非営利法人地域通貨杉っ子運営会
小国ツーリズム協会

取組が行われる場所
小国町一円

取組の実施期間
平成１６年度

取組により実現される行為
ワーキングホリデーなど、都市住民の滞在型・参加型のプログラムに地域通貨を活用する。
通貨は、ＩＣカードを利用して町のセンターサーバーによる一元管理とし、必要なＩＴ機器の設置、ソフト開発を行う。

別添資料【※省略】
地域通貨モデルシステム
地域通貨の利用方法
地域通貨活用によるワーキングホリデー

別紙

１　支援措置の番号及び名称

10804　　生涯学習まちづくりモデル支援事業

２　当該支援措置を受けようとする者

小国町

３　当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

取組に関与する主体
　実行委員会を組織して事業を推進する
　　メンバー：熊本大学　工学部教授
　　小国町　教育委員
　　小国町教育委員会事務局員
　　小国町役場　職員
　　（財）学び舎の里　事務局員
　　（株）小国ＴＭＯ

取組が行われる場所
　小国町一円

取組の実施期間
　平成１６年度

取組により実現される行為
　地域の大学との連携により、ワークショップ、講義などの学習の機会を創出し、地域住民が自らの地域の風景を自らの言葉で語ることのできる場をつくり、地域に誇りを持ち、住みつづけられる美しいまちづくりを目指す。

別添資料【※省略】
小国町生涯学習まちづくり事業の概要
事業概念図